

2026 年 4 月 15 日

がん対策推進企業表彰にて がん対策推進パートナー賞「検診部門」を受賞

株式会社 大分銀行（頭取 高橋 靖英）は、厚生労働省の委託事業「がん対策推進企業アクション」が実施する、令和 7 年度がん対策推進企業表彰にて、「がん対策推進パートナー賞（検診部門）」を受賞しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今後も引き続き、従業員が健康で生き生きと働ける職場環境づくりに向けて、より一層、「健康経営」を推進してまいります。

記

1. がん対策推進企業アクションについて

厚生労働省が 2009 年から実施している、職域におけるがん対策に特化した国家プロジェクトで、現在、約 8,000 の企業・団体が推進パートナーとして参画しています。職域でのがん検診受診率向上を企業連携で推進していくことで、“がん”と前向きに取り組む社会気運を醸成し、企業が率先して「がん検診受診」の大切さを呼びかけることにより、受診率が 60%以上となることを目指して活動しています。

毎年、推進パートナー企業の中から、がん対策において積極的な取り組みを行った企業を表彰しており、この度、当行はがん対策推進パートナー賞「検診部門」を受賞いたしました。





写真左：東京大学大学院医学系研究科 総合放射線腫瘍学講座 特任教授

がん対策推進企業アクション アドバイザリーボード議長 中川 恵一 先生

写真右：株式会社大分銀行 人財開発部 永田 のり子 業務役補（保健師）

2. 当行のがん対策への取組について

今般、がん検診を受診しやすい環境整備を推進した結果、各部位で極めて高い受診率を達成している点が評価され、がん対策推進パートナー賞「検診部門」の受賞にいたしました。

【主な取り組み】

（１）がん検診受診率 90%以上を維持するための施策の実施

人間ドック・定期健康診断へのがん検診項目の組み込みや、子宮頸がん検診の巡回健康診断を行っており、従業員が自動的にがん検診を受診する環境整備を行っています。

（２）早期発見・早期治療のための取組

要精密検査該当者に対して、都度受診勧奨を行い、二次検診受診率 100%を目指しています。また、二次検診の受診等にも利用できる特別有給休暇「ウェルネス休暇」の新設や、大分銀行健康保険組合からの受診費用補助の実施等、経済的・時間的負担の軽減も図っています。

（３）ヘルスリテラシー向上のための取組

がんに関する情報提供を定期的に行い、従業員のヘルスリテラシー向上を支援しています。

以上

【本件内容に関するお問合せ先】

（株）大分銀行 人財開発部 人事業務グループ

TEL 097-538-7607